

おうちの図工室・美術室

星座に願いを

対象学年 中学校 3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

夜の空を見上げるとたくさんの星が輝いていますね。そして、さらにいくつかの星をつなげると、星座になります。有名なオリオン座、北斗七星、カシオペア座——、これら星座たちは、昔の人々が時間を知ったり、地図を読んだりするため、さらには神話になぞらえて、教訓を示し、星座を見る人々へのさらなる幸せを願ったりして、作られたものなのです。

あなたなら、どんな星座を作りますか。今日、夜空を眺めて、新しい星座を考えてください。そして、その星座を見た人にどんな幸せをもたらしますか。また、1年間の内の何月頃、どの方角の空の、何時頃に見えますか。

実際にある星を眺めて考えてもいいですし、新しい星を作って考えてもかまいません。

- 画用紙でもノートにでも、絵具や色鉛筆、ペンなど、自分の好きなもので描いてください。
- 星座に込めた願いや、その星座が見える季節、方角や時刻などの詳細も添えてください。
- 作品の大きさや形は自由です。
- また、黒い紙を使いたい場合は、「黒背景プリント」を印刷してお使いください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

深く見つめる

実際に星を観察し、天体の大きさや広さを体感する経験により、自分を取り囲む宇宙を感じるきっかけになります。

社会への広まり

自分だけでなく、顔も知らない同じ星を見る人々の幸せを考えようとする姿勢を期待しています。

三観点

知識・技能

星に関する知識や、自分が考えたことを視覚的にまとめることができる。

思考・判断・表現

現実にある星から、新しく星座の詳細やイメージについて想像を巡らせることができる。

主体的に学習に取り組む態度

天体の観察に基づいて、新しい星座のイメージを広げようとする。

おうちの図工室、美術室

活動の足あと・子どものことば

